令　和　６　年　度

事　業　報　告　書

自　令和６年４月１日
至　令和７年３月３１日

公益財団法人　北海道防犯協会連合会

令和６年度事業報告

第１　公益目的事業

１　地域安全活動の推進

⑴　犯罪の起きにくい社会づくりの推進

道民の防犯意識の高揚を図るため、警察及び自治体、関係機関・団体等と連携して各季の地域安全運動などを情勢に応じて実施したほか、「北海道犯罪のない安全で安心な地域づくり推進会議」と協働しながら「安全・安心どさんこ運動」の普及促進を図るなど、各地区の防犯協会等が道民と一体となって、「犯罪の起きにくい社会づくり」を推進した。

ア　地域安全運動の実施

○　春の地域安全活動

期間を定めず、これまで各地域で実施してきた春の地域安全活動の実情に合わせ、適宜の時期において、子供と女性の犯罪被害防止や特殊詐欺の被害防止を重点に地域の情勢に即した防犯活動を実施した。

５月１３日には、かでる２・７　かでるアスビックホールにおいて、「令和６年　安全安心なまちづくり　道民の集い」を主催し、札幌北斗高等学校演劇部による特殊詐欺防止に係る啓発劇や東京大学情報基盤センターの大山智也講師による「子供・女性を狙う犯罪をどう防ぐか：被害の実態と対策」についての講演等を実施した。

○　全国地域安全運動

１０月１１日（金）から同月２０日（日）までの１０日間、子供と女性の被害防止、特殊詐欺、ＳＮＳ型投資・ロマンス詐欺の被害防止、自転車、万引きの被害防止、管内の情勢に即した犯罪の被害防止を運動重点として実施した。

運動初日には、札幌サンプラザにおいて、「安全安心なまちづくりの日」道民の集いを主催し、「北海道犯罪のない安全で安心な地域づくり賞」受賞

４団体の知事表彰や市民防犯インストラクター武田信彦氏よる「防犯ボランティアが育む！地域と子どもたちの安全」についての講演等を実施した。

○　歳末地域安全運動

１２月１５日（日）から同月３１日（火）まで、子供と女性の犯罪被害防止、特殊詐欺、ＳＮＳ型投資・ロマンス詐欺の被害防止、侵入犯罪や万引きなどの窃盗被害防止を運動重点として実施を依頼した。

運動に先駆け、１２月１３日（金）には、薄野交番勤務員を激励し、防犯ボランティアとともに薄野歓楽街の防犯パトロールを実施した。

イ　広報啓発活動資料の作成配付

○　春の地域安全活動用広報啓発ポケットティッシュ「特殊詐欺被害防止」、「子供・女性被害防止」、「自転車防犯登録の推進」の３種類、合計９万個を制作配付した。

○　歳末地域安全運動用広報啓発使い捨てカイロ１１万個を制作配付した。

○　自転車防犯登録診断カード９万７，０００枚を制作配付した。

○　サイバーセキュリティ対策本部と連携し、学校法人　北海道安達学園専門学校札幌デザイナー学院の生徒が作成した「インターネット上の誹謗中傷防止」の啓発ポスター４，０００枚を制作し、全道の高校に配付した。

また、２月１日から３月１８日までの「サイバーセキュリティ期間」中、札幌駅直結の商業施設「アピア」のデジタルサイネージで３種類のポスターを上映した。

○　サイバーセキュリティ対策本部と連携し、「サイバーセキュリティ月間」中の３月１日から３月１８日までの間、道内居住者を対象に、Google が所有する YouTube などのサービスや Google が提携している Web サイトの広告枠に、フィッシング詐欺被害防止のための広告を３２万８，０６０回配信した。

このうち３，７５１人が道警ホームページの詳細画面にアクセスしており、防犯意識の向上が図られた。

○　生活安全企画課及び札幌市と連携し、ＳＮＳ型投資詐欺被害を防止するための中吊りポスター３，７００枚を制作、道内のバス会社、札幌市営地下鉄駅及び札幌市内のまちづくりセンターに配付し、注意喚起の啓発を行った。

○　生活安全企画課と連携し、国際電話による特殊詐欺被害防止のため、国際電話の発信・着信を休止する方法を記載した広報チラシ３万４，０００枚を制作し、新聞の折り込みチラシとして被害の多発する地域に配付した。

○　全国防犯協会連合会が作成した、全国地域安全運動の広報啓発用ポスター、広報啓発チラシを各方面・地区防犯協会に斡旋した。

○　全国防犯協会連合会が作成した広報啓発冊子「住宅に対する侵入強・窃盗被害防止冊子」、「新時代のサイバー犯罪徹底攻略ＢＯＯＫ」や映画会社と提携した防犯ポスター「クレヨンしんちゃん　オラたちの恐竜日記」、「ふしぎ駄菓子屋銭天堂　幸せか、不幸かは自分次第」を各方面・地区防犯協会に配付した。

○　全国防犯協会連合会広報誌「安心な街に」２，５２０部を全国防犯協会連合会から購入して配付した。

○　当連合会機関誌「道防連だより」を年２回（７月４，０００部、１月３，７００部）発行した。

○　当連合会のホームページの「地区防犯協会の活動」や「犯罪被害に遭わないために」、「賛助会員」等を適宜更新した。

⑵　協働連携事業

ア　方面・地区防犯協会等の防犯活動に対する協力支援の実施等

○　方面・地区防犯協会に対する協力支援事業等への支援

各方面及び地区防犯協会と協働・連携して行う各季の地域安全運動を始めとする防犯活動に関する協力支援事業を推進するとともに、事業経費の一部を助成するなど支援を行った。

○　関係機関・団体等との協働活動の推進

道警察、関係機関・団体及び地域住民等との協働による各種犯罪の防止に向けた地域安全活動を推進し、住民が不安を感じ道警察が取組重点としている子供・女性を対象とした犯罪被害防止と特殊詐欺被害防止に志向した街頭啓発活動や防犯パトロール、高齢者宅訪問による防犯活動等を推進した。

イ　防犯ボランティア団体等の活動の促進

○　防犯ボランティア団体の現状

令和６年末における道内の防犯ボランティア団体数は、１，２５５団体（前年対比－４１団体）であり、各方面及び地区防犯協会を通じて各種情報を提供し、防犯ボランティア団体の拡充と活動の活性化を図った。

○　次世代を担う学生防犯ボランティア育成のための継続管理支援事業

道警察と協働して、将来、地域の防犯ボランティアを担う人材の育成を図るため、大学等の学生を対象に防犯ボランティア活動に関する講習会を道内各地で１９回開催し、受講した１６８名のうち１６１名を新たに「学生防犯ボランティア」として登録管理した。

令和６年度中の登録者数は計４４３名で、防犯啓発活動、少年の居場所づくり、防犯パトロール、児童の見守り活動等１５１回の活動に３０８名の学生防犯ボランティアが参加した。

○　ボランティアリーダー養成講座の開催

１２月４日、道警察と協働して、地域において中核となって自主防犯活動を行っている防犯ボランティア１３名を対象に、オンライン形式によって開催したほか、警察本部会議室の会場には、学生防犯ボランティア６名が参加して防犯活動を推進するリーダーとなるべき人材の育成を図った。

○　子どもの安全を見守る運動と青色回転灯装備車両の普及促進

・　２月１９日、江別市コミュニティセンターにおいて、江別市が主催する江別市民６２名が参加した「安全安心講座」において、「地域でできる防犯対策」について講話し、防犯意識の高揚を図った。

・　令和５年末における道内の青色回転灯を装備した自主防犯パトロール車の台数は２，５４１台（前年比－３１５台）で、各地で通学路における防犯パトロールを行い、子どもの安全を見守る活動などを展開した。

・　日本宝くじ協会が行う「青色回転灯装備車整備事業」による青色回転灯付パトロール車の配置希望はなかったが、次年度は配置予定である。

ウ　少年の非行防止と健全育成

○　少年の居場所づくり事業の協働開催

道警察や道少年補導員連絡協議会と協働で実施の「少年の居場所づくり（ＪＵＭＰプラン）事業」及び各方面防犯協会連合会、道警察各方面本部等と協働で実施の「方面ＪＵＭＰプラン事業」に支援を行い、少年の規範意識の醸成と健全育成を図った。

令和６年度における実施回数は４２回、参加人員は５９０名で、活動別の内訳は次のとおりである。

・農業体験活動　１７回実施　３３０名参加
・社会参加活動　１２回実施　１４０名参加
・就労支援活動　　２回実施　　５１名参加
・学習支援活動　１１回実施　　６９名参加

○　少年の健全育成、性被害の防止活動

少年課と連携し、闇バイトの防止を目的に、札幌平岸高校デザインアートコースの生徒が制作した啓発動画を１月３日から１月３０日までの間、札幌市内の映画館において、スクリーンＣＭとして１，８２４回上映、延べ７万４，９６４名が視聴した。

１０月からは、ココノススキノ、地下歩行空間など札幌市内１０か所のデジ

タルサイネージでも放映されている。

○　関係機関・団体等の取組みへの参画

北海道が７月に実施する「青少年の非行・被害防止道民総ぐるみ運動強調月間」に発出された「北海道知事メッセージ」に協力して、各方面･地区防犯協会を通じ、青少年の非行防止と被害の防止を図る取組みを推進した。

○　カラオケボックス管理者講習会の開催

１１月６日、北海道カラオケボックス協会及び道警察と連携し、オンライン形式による管理者講習会を共催、参加した全道の店長等１２１名に対し「最近の犯罪情勢と防犯対策」等について講話を行い、安全で安心な営業気運の醸成と防犯意識の高揚を図った。

○　全国地域安全運動等ポスター・標語への応募

全国防犯協会連合会が行う「全国地域安全運動等に向けたポスター・青パト写真・標語募集の実施」に共催し、各地区防犯協会を通じて道内の小・中・高等学校等に働きかけを行い、青少年の規範意識の高揚を図った。

募集の結果、標語が岩見沢市立上幌向中学校から４６作品、長万部町立長万部中学校から５作品、北海道長万部高校から９作品の応募があった。

エ　薬物乱用防止活動

全道の小学校、中学校、高等学校で開催の薬物乱用防止教室などで使用する資料として全国防犯協会連合会から配付された広報啓発冊子「薬物乱用防止ハンドブック」を活用し、青少年の薬物乱用防止意識の醸成を図り、北海道薬物乱用防止指導員連絡協議会の活動を支援した。

⑶　防犯功労者等表彰

ア　北海道防犯協会連合会の表彰

各方面防犯協会（団体）連合会から推薦のあった表彰候補者の中から、防犯功労者６０名、防犯功労ボランティア団体１４団体を選考し、理事長と北海道警察本部長との連名により表彰した。

表彰状の伝達については、受賞者の便宜と地域住民の一層の自主防犯意識の高揚を図るため、各地区防犯協会において警察署長と協議・連携して伝達することを依頼した。

イ　全国防犯協会連合会の表彰

全国防犯協会連合会が行う防犯功労者等表彰の表彰候補者・団体を選考・推薦した結果、防犯功労者２７名（防犯栄誉金章３名、防犯栄誉銀章６名、防犯栄誉銅章１８名）及び防犯功労団体１団体、功労ボランティア団体２団体が受賞し、９月２８日に開催された全国地域安全運動中央大会での表彰式には、防犯功労団体１団体が出席した。

２　自転車防犯登録事業

⑴　自転車防犯登録指定店に対する指導

自転車の防犯登録に係る業務を行う者として指定した自転車販売店である「自転車防犯登録所」に対し、年に１回、登録カードの在庫状況の報告を求めて取扱状況を確認するなど自転車防犯登録カード等の保管管理の徹底を図り、的確な登録事務の推進について指導した。

⑵　防犯診断等の実施

各地区防犯協会において警察署等と連携し、防犯登録啓発用ポケットティッシュや自転車防犯登録診断カードを活用した駐輪場等における防犯診断、街頭啓発を実施し、自転車防犯登録の促進と盗難被害防止の啓発を行った。

⑶　札幌市の基本計画における取組み

札幌市犯罪のない安全で安心なまちづくり等審議会における「第４次札幌市犯

罪のない安全で安心なまちづくり等基本計画」（計画期間：令和７年度から令和１１年度まで）の策定に際し、札幌市の当初案においては、自転車盗対策における防犯登録とツーロックの徹底が削除されていたことから、その必要性を粘り強く訴えた結果、基本施策の中に「防犯登録やツーロックの徹底等について、自転車を利用する機会の多い学生等の世代に向けて注力的に広報を行う」との取組が盛り込まれるに至った。

⑷　自転車防犯登録取扱件数

令和６年度の自転車防犯登録取扱件数は７万６，９５４件（前年度比＋４１３件）であった。

３　防犯モデルマンション認証事業

令和６年度末で７６棟を「防犯モデルマンション」として認証している。

第２　その他事業（北海道公安委員会からの受託事業）

１　風俗営業管理者講習の実施

風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律等に基づき北海道公安委員会から委託を受け、風俗営業管理者を対象とした講習会を道内各地で３６回開催し、６３９名が受講した。

２　風俗営業の新規許可申請等に伴う現地調査の実施

風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律等に基づき北海道公安委員会から委託を受け、風俗営業の新規許可申請等に係る営業所の構造設備、営業制限地域に関する調査を行う調査員を令和６年４月１日付で６４名委嘱し、風俗営業の新規許可１０５件、構造設備変更５件の現地調査を実施した。

第３　会議等

１　北海道防犯協会連合会関係

・通常理事会～第１回：令和６年５月１６日

第２回：令和７年３月１８日

・臨時理事会～令和６年６月１１日

・定時評議員会～令和６年６月１１日

２　全国防犯協会連合会関係

・都道府県防犯協会専務理事・事務局長会議及び風俗環境浄化事業運営管理者研修会～令和６年７月１７日